

(2) 少年団体等利用指導者研修会

① 目的

当所の効果的な利用ができるようにするため、実技研修を通して研修計画の立て方や研修の進め方等について研究を深めるとともに、指導者間の情報交換を図り、資質を高める。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期 日 平成6年5月28日～29日
- 対 象 利用団体の指導者 参加者数 67名

③ 研修内容

- 全体会 ・研修プログラム作成上の問題点とその解決のために
- 実 技 ・野外活動 ・キャンプファイヤーの企画と演出

(3) レクリエーション実技指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者が更に望ましい資質を身につけるため、レクリエーション活動に関する基礎知識や技術、指導法について研修し、指導力を高める。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期 日 平成6年7月5～8日
- 対 象 社会教育関係者、学校教育関係者及びレクリエーション活動に興味・関心のある者
定員40名 参加者数16名

③ 研修内容

- 理 論 教育施設とレクリエーション、グループレクリエーションの目的・場面等
- 実 技 心通う踊り、コミュニケーションゲームの実技と指導法、ニュースポーツの実技等

2 少年のつどい

(1) 自然に鍛える少年のつどい

① 目的

夏の自然の中で、キャンプ生活や野外活動を通して自然とふれあい、宿泊生活の楽しさを味わいながら交流し、友情を深め合うとともにたくましさを養う。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期 日 平成6年8月3日～5日
- 対 象 県内の小・中学校より応募した5年生以上の児童生徒
定員45名 参加者数45名

③ 研修内容

- 実 技 すまいづくり、野外炊飯、キャンプファイヤー等

(2) 「たくましく生きる少年のつどい」

学校適応サポートプラン「青少年自然体験活動推進事業」

① 目的

学校生活になじめない児童生徒が、自然の中での集団生活や野外活動、農業体験などを通して友と交流することや自然とふれあう楽しさを知り、集団への適応力を高める。

② 期日・対象者及び参加者数

○ 第1回

- ・ 期日 平成6年6月5日
- ・ 対象 県内の小・中学校より公募した児童生徒及び保護者

- ・ 定員 50名 参加者数 49名 対象児童生徒 25名

○ 第2回

- ・ 期日 平成6年7月2日～3日
- ・ 定員 30名 参加者数 19名 対象児童生徒 16名

○ 第3回

- ・ 期日 平成6年8月3日～5日
- ・ 定員 30名 参加者数 23名 対象児童生徒 21名

○ 第4回

- ・ 期日 平成6年10月7日～9日
- ・ 定員 50名 参加者数 35名 対象児童生徒 20名

○ 第5回

- ・ 期日 平成7年2月25日～26日
- ・ 定員 50名 参加者数 23名 対象児童生徒 15名

③ 研修内容

○ 第1回

ふれあいゲーム、農業体験（さつま芋・トウモロコシ苗植え）、懇談会（保護者）等

○ 第2回

野外炊飯、テント設営・撤収、農業体験、ナイトハイキング、クラフトづくり等

○ 第3回

野外炊飯、農業体験、キャンプファイヤー等

○ 第4回

農業体験（さつま芋の収穫）及び収穫祭、アーチェリー、マウンテンバイク等

○ 第5回

アルバムづくり、思い出感想発表会、スターウォッチング、アイススケート等

3 親子のつどい

(1) 親子キャンプのつどい－国際家族年記念事業－

① 目的

テントによる宿泊生活や野外活動などを通して、親子のふれあい、他家族との交流・親睦を深める。

③ 期日・対象及び参加者数

- 期日 平成6年7月29日～31日
- 対象 県内から応募した小・中学生と保護者
定員 150名 参加者数 156名

③ 研修内容

- テント設営・撤収、野外炊飯、ナイトハイキング、キャンプファイヤー、ふれあいトーク&コンサート等

(2) 親子雪のつどい

① 目的

冬の自然の中で、そりすべりなどの野外活動に親しみながら親子のふれあいを深めるとともに、他家族との交流・親睦を深める。